

No.	資料番号	年代	資料名	形態	冊数	内容	備考
I 八幡宮社務日記							
1	1	元禄6.2.16 (1693)	萬覚帳	縦帳	1	屋形様下向延期につき祭礼も延引、古懸不動に神楽出行、岩木山宝堂再興仰付	後に記録編纂した史料
2	2	元禄8.12.20 (1695)	萬留書	縦帳	1	飢饉救済帳	社人の救済願書を集めたもの
3	3	元禄12.8 (1699)	萬留帳	縦帳	1	八幡宮建立覚書	年代の順序なし
4	4	宝永4-享保3 (1707-18)	萬留状	縦帳	1	社家頭仰付、弁太夫は熊野宮の支配頭とする、八幡宮と熊野宮の支配が分離、若狭は郡中・諸社・社人支配、大鰐村薬師堂盗難	五穀成就祈禱覚書 日次の記録(粗漏アリ)
5	5	宝永7-享保11 (1710-26)	萬留帳	縦帳	1	信政君逝去、土佐守入部正徳2年6月事、高岡普請につき祈禱、五穀成就祈禱、盗人詮議、新社新宮の呼称禁止	日次の記録 後に編纂したもの
6	6	享保2 (1717)	萬留帳	横帳	1	諸方への手紙控と口上覚 小鹿七兵衛、最勝院宛	日次の御状留
7	7	享保元-3 (1716-18)	御用留帳	横帳	1	廻状写を集める、佐藤善右衛門→最勝院→小野若狭・長利山城	
8	8	享保5-10 (1720-25)	(御用留帳)	横帳	1	一ノ鳥居再興、拝借金年賦上納、服忌の件につき報告、碇ヶ関出印紙請求願(最勝院宛)	御状留(日次)
9	9	享保11 (1726)	御用之物留帳	縦帳	1	八幡宮祭礼道具之覚、八幡宮葺替、神前の道具、神楽の道具	道具帳
10	10	享保14-18 (1729-33)	(御用留帳)	縦帳	1	若殿様麻疹につき神楽仰付、若殿逝去、隠居様竹翁を唱、竹の字遠慮、浪岡八幡宮神楽殿地震により倒壊	御状留(日次)
11	11	享保19-元文3 (1734-38)	御用日記	横帳	1	頭休院様、屋形様参詣有	日次の日記と御状留
12	12	元文4 (1739)	御用日記	縦帳	1	若松様誕生、竹本伯耆京へ登り	日記の体をなす
13	13	元文5 (1740)	萬留書	縦帳	1	山村伊勢官位のため登り、山王の木風折、神楽殿潰れ、若松様参宮	日記の体をなす
14	14	寛保3 (1743)	御用留帳	縦帳	1	山部伊予・長利豊前違背につき口上書、寺社奉行棟方弥市郎、永沢孫兵衛	
15	15	延享元 (1744)	御用留書	縦帳	1	正政家督、屋形様誓去、住吉の社地伊勢へ仰付	
16	16	延享2 (1745)	御用日記	縦帳	1	明盛法印隠居、三上孫右衛門寺社奉行、小野井讃岐不行跡にて上方登り差留、小野万太夫革秀寺と稲荷の取合い	
17	17	延享3 (1746)	御用留帳	縦帳	1	御隠居様誓去、巡見使下向、日本左衛門御尋の事、野内貴船遷宮	
18	19	延享4.4- (1747)	御用留帳	横帳	1	小野井讃岐不孝母より上申、小笠原対馬悴勘当御免、浦町出入和睦	
19	18	延享4.正- (1747)	御用留記	縦帳	1	下巻目録、最勝院僧正の件、吉田様嫡子元服祝儀	廻状写

No.	資料番号	年代	資料名	形態	冊数	内容	備考
20	20	寛延元 (1748)	御用日記	横帳	1	朝真院家入院	御状留
21	21	寛延2 (1749)	御用留書	横帳	1	阿部清宮幸太夫跡仰付、堂社帳面仰付、青森浦町本伊勢社寺地仰付	
22	22	寛延3 (1750)	御用留書	横帳	1	秋元蔵主寺社奉行仰付、小野左門種粕願の事、山村和泉勘当御免	
23	23	宝暦元 (1751)	(御用留帳)	横帳	1	浦町出入和睦の事、廻船祈禱	(表紙欠)
24	24	宝暦2 (1752)	御用留帳	縦帳	1	唐門・厩修理、阿部清宮追放、京都吉田で官位心掛10両拝借願	
25	25	宝暦3.正-7-12 (1753)	御用留書	縦帳	1	鱒ヶ沢工藤加賀など上京、御手洗所建立	合冊
26	26	宝暦4 (1754)	御用留記 一	縦帳	1	長利唐之助追放、阿部清宮追放	紙数66枚 日記体
27	27	宝暦4 (1754)	御用留記 二	縦帳	1	浄心院逝去、祭礼装束虫干	
28	28	宝暦4 (1754)	御用留記 三	縦帳	1	神社立坪書上、内外村神楽永久定	
29	29	宝暦5.正-7 (1755)	(表紙ナシ)	横帳	1	凶作につき諸事儉約令、祭礼道具覚	
30	30	宝暦5.8-12 (1755)	御用留記	横帳	1	山村伊勢一乱、家中知行蔵入仰付、当年大凶作	山村伊勢については、市立弘前図書館に「山村伊勢一卷」(TK175-3.4)あり
31	31	宝暦6 (1756)	御用留記 天	縦帳	1	両社下社家難義手当願、不許可、工藤応学出奔、支配社人家内男女書上、青森下社の人へ最花下置	
32	32	宝暦6 (1756)	御用留記 地	縦帳	1	乳井村毘沙門堂鳴動、長利淡路目見願、屋形様着城、社参	
33	33	宝暦6 (1756)	御用留記 人	縦帳	1	祈禱仰付、社領蔵入仰付、知行寺社領ともに蔵入となる、寺社役仰付、乳井貢元司職仰付	
34	34	宝暦7.正-4 (1757)	御用留記 乾	縦帳	1	屋形様参宮、斎藤兵部家督	
35	35	宝暦7.5-12 (1757)	御用留記 坤	縦帳	1	長利弁大夫出奔、社領蔵入、大行院と神事につき協議	
36	36	宝暦8 (1758)	御用留記	縦帳	1	津軽百介など寺社奉行御免	
37	37	宝暦9 (1759)	御用留記	縦帳	1	社参、屋形様江戸へ発駕、大洪水	
38	38	宝暦10 (1760)	御用留記	縦帳	1	山村和泉京登、拝借願、屋形様参詣	
39	39	宝暦10 (1760)	江戸詰中御用留書	縦帳	1	江戸逗留中の御用向を記す	

No.	資料番号	年代	資料名	形態	冊数	内容	備考
40	40	宝暦11 (1761)	御用留書	縦帳	1	社人吉田へ官位のため上京、巡見使下向、秋田領横手自性院対面	
41	41	宝暦12 (1762)	御用留書	縦帳	1	山辺伊予官職上京、田名部出雲上京、惣支配人別改	
42	42	宝暦13 (1763)	御用留書	縦帳	1	四社行上下3人成ル、沢田右門上京、小野神太夫隠居願 法華宗と出入	
43	43	明和元 (1764)	御用留書	縦帳	1	熊五郎様初宮参神楽仰付	
44	44	明和2 (1765)	御用留書	縦帳	1	東照宮150年祭、社人山伏出入場所、切支丹寺判支配所より取立	
45	45	明和3 (1766)	御用留書	縦帳	1	大地震、不時の祈禱仰付、小野井若挾他行無用、小野兵部・長利齋宮初目見	
46	46	明和4 (1767)	御用留書	縦帳	1	尾崎豊後社職召放、虫除祈禱仰付、託宣書封印して上呈、福島村観音堂のこと	
47	47	明和5 (1768)	御用留記	縦帳	1	奥内村沢田甚太夫不行跡につき社職召放、屋形様姫様社参	
48	48	明和6 (1769)	御用留記	縦帳	1	廻船祈禱、毛利豊前上京、支配所楽舞差留	
49	49	明和7 (1770)	御用留書	縦帳	1	大鳥居建直し、蟹田北山筑前悴出奔、江戸屋敷焼失、年始は1日のみ	
50	50	明和8 (1771)	御用留書	縦帳	1	屋形様疱瘡、神楽、姫様逝去、小野正改妻死亡	
51	51	安永元 (1772)	御用留帳	縦帳	1	長浜広瀬宮作事方申合、郷賄、郷馬町馬受取小野静馬弟出奔義絶	
52	52	安永2 (1773)	御用留書	縦帳	1	和徳稻荷社参、加茂皇太神守札奉納	
53	53	安永3 (1774)	御用留書	縦帳	1	神馬煩、廻船祈禱、有馬藤大夫京都で病死、知行所矢沢村収納不足	
54	54	安永4 (1775)	御用留帳	縦帳	1	愛宕出行神楽勤む	
55	55	安永5 (1776)	御用日記	縦帳	1	広瀬宮造立につき加持執行、仙石平三郎死去	
56	56	安永6 (1777)	御用留帳	縦帳	1	部屋様、屋形様社参、矢沢村知行所土居築立のため山作人足450人申立	
57	57	安永7 (1778)	御用留帳	縦帳	1	工藤左膳妻不埒、山村数馬一件、田方普請	
58	58	安永8 (1779)	御用留書	縦帳	1	社家縁組は寺社奉行へ届出ること、時鐘茂合銭上納	
59	59	安永9 (1780)	御用留帳	縦帳	1	3分の1減少社家費用節減	

No.	資料番号	年代	資料名	形態	冊数	内容	備考
60	60	天明元 (1781)	御用留帳	縦帳	1	秋元金九郎寺社奉行、藤井大和小頭	
61	61	天明2 (1782)	御用留帳	縦帳	1	近衛様ヨリ守札奉納御祓	
62	62	天明3 (1783)	御用留記	縦帳	1	青森善知鳥宮類焼、青森町家潰、大飢饉、支配社家の救済願	
63	63	天明4 (1784)	御用留帳	縦帳	1	手当1両、筑前病死、時疫流行、社領3分の1借方仰付、森岡主膳家老職御免、祈禱料減額	
64	64	天明5 (1785)	御用留書	縦帳	1	屋形様社参、知行水害につき当1作館ノ越村へ繰替、10両拝借	
65	65	天明6 (1786)	御用留書	縦帳	1	深島村松橋筑前遠慮赦免	
66	66	天明7 (1787)	御用留帳	縦帳	1	鉄炮打物1役1人ずつ出し、知行20石浪岡村へ願、下社家宮本右門召放	
67	67	天明8 (1788)	御用留書	縦帳	1	巡見下向、屋形様社参	
68	68	寛政元 (1789)	御用留帳	縦帳	1	社参、他領への人員他出禁止	
69	69	寛政2 (1790)	御用留帳	縦帳	1	最勝院後住百沢寺長胤、山村要人家督願斎藤伊大夫社職召放	
70	70	寛政3 (1791)	御用留記	縦帳	1	松橋筑前社職召放、切支丹寺判支配へ触、屋形様逝去、郡中戸数人数別調、大風	
71	71	寛政4-7 (1792-95)	御用留記	縦帳	1	当年より支配所御用番ハ別帳支配方之留書ニ致御用文庫に入置	内題:自分留記 支配方留事と区別
72	72	寛政8 (1796)	公私自分留帳	縦帳	1	広瀬宮大風にて破損	
73	73	寛政9 (1797)	公私自分留帳	縦帳	1	御神馬飼料代増、松前箱館人数差出・渡海守札	
74	74	寛政10-11 (1798-99)	公私留書	縦帳	1	四社増渡1両宛、柵宜町屋別分間改	日記体
75	75	寛政12 (1800)	御用留	縦帳	1	御供様髪置代参	
76	76	享和2-3 (1802-03)	公私日記	縦帳	1	箱館蝦夷地行海上安全祈禱守札交付、人数足軽頭1人、目見以上10人、足軽250人、神器盗難	
77	77	文化元 (1804)	公私日記	縦帳	1	御手洗所建直仰付、清メ加持執行	
78	78	文化4 (1807)	公私留書	縦帳	1	月並祈禱中止、松前騒動につき人数差出	
79	79	文化5 (1808)	公私日記	縦帳	1	8月祭礼停止、正乗御叱、正方相続	

No.	資料番号	年代	資料名	形態	冊数	内容	備考
80	80	文化6 (1809)	公私日記	縦帳	1	雨乞、長浜宮建直、御宮普請	
81	81	文化8 (1810)	公私日記	縦帳	1	井戸廻手入、水流取付	
82	82	文化9 (1811)	公私日記	縦帳	1	松前所々御固人数へ守札下置、各所の人数割	
83	83	文化10 (1812)	御用留	縦帳	1	広瀬宮見分のため馬調達、家族構成の報告、松前渡海祈願	日記体
84	84	文化11 (1813)	御用留	縦帳	1	社参、松前行祈祷、黒石様参詣	
85	85	文化12 (1814)	御用留	縦帳	1	若殿様初入国	
86	86	文化13 (1815)	御用留	縦帳	1	下社家小野静馬跡取立、神馬飼料定	
87	87	文化14 (1816)	御用留	縦帳	1	若挾正方病死、家督仰付	
88	88	文政元-2 (1818-19)	御用留記	縦帳	1	松前詰・三厩詰人数海上安全守札を寺社へ仰付、新田開発願、広瀬宮社地手入につき町馬使用	
89	89	文政3-4 (1820-21)	御用留記	縦帳	1	巳年神馬献附の節、古品清メ加持執行	
90	90	文政5-6 (1822-23)	御用留記	縦帳	1	慎仰付、午年官職上京、郡奉行祈祷頼合、社家取扱仰付、伺出、赤袍着用	
91	91	文政7-8 (1824-25)	御用留記	縦帳	1	三厩詰渡海安全祈祷不仰付、屋形様入部	
92	92	文政8.1-3 (1825)	御用日記	縦帳	1	善知鳥神社の再建願、宮本左門吉田へ官職のため上京、修験預神社、霞へ神楽祭主頼合につき出向	
93	93	文政9-10 (1826-27)	御用留記	縦帳	1	銚姫不快、江戸表逼塞仰付祈祷、長浜遷宮	
94	94	文政11-12 (1828-29)	御用留記	縦帳	1	正乗病死、長浜鳥居祭、八幡宮居宅廻大破につき、杙・木舞拝借(杙6000枚、木舞200本)	
95	95	天保元-2 (1830-31)	(御用留記)	縦帳	1	佐々木長宮吉田へ登る、木造八幡宮本別争い、修験抱宮書上	(表紙欠)
96	96	天保2 (1831)	御用留記	縦帳	1	屋敷地拝領、黒札御尋、臨時祈祷	
97	97	天保3 (1832)	御用留	縦帳	1	地藏堂清メ、屋敷地引渡	
98	98	天保4 (1833)	年中記	縦帳	1	凶作、祭礼賄方入用、上仙院逝去	日記体
99	99	天保5 (1834)	年中記	縦帳	1	長利光尾暇願、知行所地元蔵入仰付	

No.	資料番号	年代	資料名	形態	冊数	内容	備考
100	100	天保6 (1835)	年中記	縦帳	1	知行米歩引渡、代官神楽、瑤池院平癒祈禱	
101	101	天保7 (1836)	年中記	縦帳	1	百沢宮出行、他出差留、凶作につき4合扶持菜錢渡	
102	102	天保8 (1837)	年中留書	縦帳	1	下社家救扶持下さる、郡中賃返し、年賦仰付	日記体
103	103	天保9 (1838)	年中留書	縦帳	1	知行所地元返、知行扶持共歩引渡、巡見使下向	
104	104	天保10 (1839)	年中留書	縦帳	1	隠居の上、斎藤長門へ預、入部、小野若挾正武	
105	105	天保11 (1840)	年中留記	縦帳	1	弓矢奉納、杉伐取、神主代小野筑前正辰	
106	106	天保12 (1841)	年中留記	縦帳	1	正武御預ケ御免、跡式相続、小野正之進正房	
107	107	天保13 (1842)	年中書留	縦帳	1	遠慮、神馬料代減、諸色増渡	
108	108	天保14 (1843)	年中書留	縦帳	1	端書清メ、祭礼につき木錢借用	
109	109	弘化元 (1844)	年中書留	縦帳	1	郡中守札引渡方	
110	110	弘化2 (1845)	常用留	縦帳	1	拝借錢上納御免、正武他出差止御免	御神馬御献附留(別題)
111	111	弘化3 (1846)	常用留	縦帳	1	5月武之助様出府前社参、官職金取立方、杉伐取願	
112	112	弘化4 (1847)	年中記	縦帳	1	大御太刀本研仰付、小杉小檜材荒詮議	
113	113	嘉永元 (1848)	年中記	縦帳	1	御前様平癒祈禱、丑除ケ祈禱	
114	114	嘉永2 (1849)	年中留	縦帳	1	上京、官職無滞、正武重役出入苦しからず、二ノ鳥居清メ加持	
115	115	嘉永3 (1850)	年中記	縦帳	1	長浜遷宮、四社祈禱	
116	116	嘉永4 (1851)	常用留	縦帳	1	吉田家へ官位申述、金姫病気祈禱、一ノ鳥居地藏堂加持祈禱	
117	117	嘉永5 (1852)	常用留	縦帳	1	吉田家より再応申来、郷仲間給代増、能拝見	
118	118	嘉永6 (1853)	年中御用留	縦帳	1	異国船祈禱伺、諸事省略につき触出	
119	119	安政元 (1854)	年中留	縦帳	1	社人追放、姫様不快	

No.	資料番号	年代	資料名	形態	冊数	内容	備考
120	120	安政2 (1855)	年中留	縦帳	1	若殿様逝去、鉦太鞆張替	
121	126	安政2-6 (1855-59)	支配諸留	縦帳	1	神社微細帳を最勝院へ書上、支配各所の祠宮の家督、跡目相続許可	御状留 神社微細帳
122	121	安政3 (1856)	年中留	縦帳	1	松前詰祈禱	
123	122	安政4 (1857)	常用留	縦帳	1	松前詰祈禱、鳥居円地藏堂清加持	
124	123	安政5 (1858)	年中留	縦帳	1	神馬献附、松前渡海安全祈禱	
125	124	安政6 (1859)	年中留	縦帳	1	殿様入部	
126	127	万延元 (1860)	年中留	縦帳	1	養女願、代参、神体覆新規出来方	
127	125	万延元 (1860)	(表紙ナシ)	縦帳	1	清野織衛吉田へ官職上京、大風、教導取締役を在浦社家に任命	
128	128	文久元 (1861)	年中記	縦帳	1	賄方取扱所出来方、弘札願済、境内手入人夫	
129	129	文久2 (1862)	年中留	縦帳	1	本社屋根修理、侍従様不快祈禱、麻疹	
130	130	文久3 (1863)	年中留	縦帳	1	広瀬宮遷宮、銅銭2文通用、飼料代増渡	
131	131	元治元 (1864)	年中留	縦帳	1	松前様御祈禱、四社御祈禱、守札在方引渡停止、長浜厨子新規出来	
132	132	慶応元 (1865)	年中留	縦帳	1	上京に付き自分物入祈禱、大殿様平愈祈禱、四社祈禱、殿様昇進、大風、方丈住居	
133	133	慶応2 (1866)	公私書留	縦帳	1	斎藤長門と共に大行院の名奏楽教導役、最勝院と境内繰合、守札料前繰渡、父正武病死	
134	134	慶応3 (1867)	公私書留	縦帳	1	主上崩御、拝領屋敷地詮議、政道条目御尋八幡宮社地詮議	
135	135	明治元 (1868)	公私書留	縦帳	1	慶喜叛逆の事、社家炮術稽古仰付、兵学入門、寺社方役廃止、奥羽鎮撫のこと、醍醐様最勝院転陣	
136	147	明治2 (1869)	支配御用留	縦帳	1	(内題)社家取扱留帳 小野正房・長利仲聴	御状留 社家取扱留帳
137	148	明治2 (1870)	支配御用留	縦帳	1	社家取扱留帳 小野正房・長利仲聴	
138	145	明治2.正-6 (1869)	公私留記	縦帳	1	社家隊締役仰付、軍政局より銃隊遍懸り仰付 2月16日 神仏混淆仕分布告	
139	146	明治2.7-12 (1869)	公私留記	縦帳	1	最勝院社家頭御免、小野、長利両人社家取扱 兵隊供奉、両社境内仕分け	

No.	資料番号	年代	資料名	形態	冊数	内容	備考
140	149	明治3.正-8 (1870)	公私留記	縦帳	1	軍務局出頭、招魂社図式取調、長利伴男招魂社々司仰付、士族卒一同減禄、社家長仰付	
141	150	明治3.8-12 (1870)	公私留記	縦帳	1	社寺一般減禄、神仏混淆仕分布告、岩木山別当取放、狂楽舞停止	神仏混淆関係の史料多し
142	136	明治4.正-3 (1871)	御用留	縦帳	1	大小神社の規則制定(太政官の命により祭神、社領現米高を申告)、社家持仏体上納の件	神仏混淆関係の史料多し
143	137	明治4.4-6 (1871)	御用留	縦帳	1	修験より復飾の社人仏体大行院への上納の件、神社抱除地の件	神仏混淆関係の史料多し
144	138	明治4.7-8 (1871)	御用留	縦帳	1	御山参詣の際梵語を唱えることの可否、廃社境内立木社司へ下賜、社族廃止	神仏混淆関係の史料多し
145	139	明治4.9-10 (1871)	御用留	縦帳	1	大教宣命、社人犯罪者の詮議、県内神職本籍編入(士族・卒籍・民籍)、東照社の取り扱い	神仏混淆関係の史料多し
146	140	明治4.11 (1870)	御用留	縦帳	1	社族廃止、神仏混淆仕分	神仏混淆関係の史料多し
147	142	明治4.11 (1871)	御用留	縦帳	1	神社建居廃、社産分賦、仏体頂戴、各社の由緒を集める	神仏混淆関係の史料多し
148	141	明治4.12 (1871)	御用留	縦帳	1	触頭申付、養老扶持の廃止、金札施行、門松廃止	
149	143	明治4.正-9 (1871)	公私留記	縦帳	1	似セ守札相廻停止のこと、修験26人復飾、社家長勤務手当10俵下置	
150	144	明治4.9-12 (1871)	公私留記	縦帳	1	墓地・墓場跡頂戴、大教宣命布告、社寺署廃止、社家長廃止、社務触頭	
151	151	明治5.正-5 (1872)	御用留	縦帳	1	社禄受取、今般社禄上納(廃止)、社務触頭免除、社地続地の開墾願	
152	152	明治5.正-11	公私留記	縦帳	1	社家触頭免、旧県の事取扱、戸籍書上、伍長仰付寺地払下願、士族入籍のこと	
153	155	明治6.4-10 (1873)	神宮御用留	縦帳	1	青森第3区祠官、各区祠官の名前書上	
154	153	明治6.1-7 (1873)	鴿林日記	縦帳	1	各区の祠官・祠学書上、青森出張一件(仮教院設置の件など)	鴿林日記は小野家の家日記。年中留・年中用留・留記も同様。以下、同様
155	154	明治6.8-12 (1873)	鴿林日記	縦帳	1	教導職の任命、仮中教院設置	
156	156	明治7.1-6 (1874)	鴿林日記	縦帳	1	中教院・小教院設立について	
157	157	明治7.7-12 (1874)	鴿林日記	縦帳	1	小教院設立、石丸八郎来県について	
158	158	明治8 (1875)	鴿林日記	縦帳	1	石丸八郎来県、神仏合同布教廃止	
159	159	明治9 (1876)	鴿林日記	縦帳	1	神道事務分局設立、明治天皇巡幸について	

No.	資料番号	年代	資料名	形態	冊数	内容	備考
160	160	明治10 (1877)	鳩林日記	縦帳	1	教部省廃止、八幡宮営繕着手	
161	161	明治11 (1878)	鳩林日記	縦帳	1	神道事務分局について	
162	162	明治12 (1879)	鳩林日記	縦帳	1	小野磐根、南津軽郡・北津軽郡巡回	
163	163	明治13 (1880)	鳩林日記	縦帳	1	八幡宮社格繰上について	
164	164	明治14 (1881)	鳩林日記	縦帳	1	天皇巡幸に関して	
165	165	明治15 (1882)	鳩林日記	縦帳	1	神宮教職兼補廃止に関して	
166	166	明治16 (1883)	鳩林日記	縦帳	1	神道事務分局小会議	
167	167	明治17 (1884)	鳩林日記	縦帳	1	教導職廃止	
168	168	明治18 (1885)	鳩林日記	縦帳	1	正四位様、八幡宮など参拝	
169	169	明治19 (1886)	鳩林日記	縦帳	1	立木伐採の儀に付願、氏子総代投票	
170	170	明治20 (1887)	鳩林日記	縦帳	1	地所永代売渡証書、八幡宮参拝式	
171	171	明治22 (1889)	鳩林留記	縦帳	1	八幡宮拝殿焼失について、小野磐根死去	
172	172	明治23 (1890)	鳩林留記	縦帳	1	八幡宮臨時祭事執行、大祭執行、小野恒三郎の履歴書	
173	173	明治24 (1891)	鳩林留記	縦帳	1	社寺上地林二関スル勅令、大地震ノ雑記(岐阜県)	
174	174	明治25 (1892)	鳩林留記	縦帳	1	公爵近衛篤磨来弘、小野善成の履歴書	
175	175	明治26 (1893)	鳩林留記	縦帳	1	小野磐根神霊五年祭執行、町内安全神楽執行	
176	176	明治27 (1894)	鳩林日記	縦帳	1	神宮神職服制、日清戦争に関して 附録として、神祇官設置上書按、林政改革一斑、天保凶荒録抜書	
177	177	明治28 (1895)	鳩林留記	縦帳	1	県社八幡宮由緒宝物調、拝殿工事完了、棟上式、拝殿清祓式執行	
178	178	明治29 (1896)	年中留	縦帳	1	青社臨時招魂祭について、社司及社掌試験	
179	179	明治30 (1897)	年中留	縦帳	1	八幡宮神主経歴、八幡宮大祭式	

No.	資料番号	年代	資料名	形態	冊数	内容	備考
180	180	明治31 (1898)	年中留	縦帳	1	小野磐根神霊十年祭執行、神道管長選挙に関して	
181	181	明治32 (1899)	年中留	縦帳	1	弘前市神職会に関して、八幡宮への有志者唐獅子寄進	
182	182	明治33 (1900)	年中留	縦帳	1	八幡宮への御国産神酒徳利寄付	
183	183	明治34 (1901)	年中留	縦帳	1	弘前招魂祭に関して、県社八幡宮御由緒調査書	
184	184	明治35 (1902)	年中留	縦帳	1	八幡宮氏子総代を集め、八幡宮年中経費などについて議論	
185	185	明治36 (1903)	年中留	縦帳	1	八幡宮神輿新調について、八幡宮祭費及其他費用調書	
186	186	明治37 (1904)	年中留	縦帳	1	日露戦争に関して、八幡宮などの経費調	
187	187	明治38 (1905)	年中用留	縦帳	1	八幡宮元始祭執行、二位様へ御守札献上、日露戦争に関して	
188	188	明治39 (1906)	年中用留	縦帳	1	藩祖三百年祭協議会について、神饌幣帛料供進神社調書	
189	189	明治40 (1907)	四十年用留記	縦帳	1	神社明細書届出に関して、八幡宮私祭・例祭について	
190	190	明治41 (1908)	四十一年留記	縦帳	1	小野磐根神霊二十年祭執行、八幡宮大祭執行	

II 風俗文選

1	191	宝永3 (1703)	風俗文選 仁	縦帳・版本	2	五老井許六編の俳文集	
2	195	宝永3 (1703)	風俗文選 義	縦帳・版本	6	五老井許六編の俳文集	
3	192	宝永3 (1703)	風俗文選 礼	縦帳・版本	3	五老井許六編の俳文集	
4	193	宝永3 (1703)	風俗文選 智	縦帳・版本	4	五老井許六編の俳文集	
5	194	宝永3 (1703)	風俗文選 信	縦帳・版本	5	五老井許六編の俳文集	
6	196	宝永3 (1703)	風俗文選 論頌	縦帳・版本	7	五老井許六編の俳文集	